

課題研究を通じた地域創生の取組

本校の課題研究（M&T タイム）では、3つの探究分野を設定し、生徒自身による学びと問いを实践する探究活動を実施している。その探究分野の1つである「I群 地域創生群」では、四者連携協定（本校・東北財務局・白石市・宮城県中小企業家同友会）のつながりを生かし、実地で生徒が【かかわる】【もとめる】【はたす】場面を経験することによって自己有用感を高めることができた事例が多く見られた。今回はその具体的な内容を紹介する。

○「第3回白高ササフェス」開催

日にち：令和3年11月13日（土）、14日（日）

場 所：おもしろいし市場（白石市福岡長袋八斗時20-1）

概 要：「地元白石産のササニシキのPRを通して白石市の活性化を図る」という目的で、「おもしろいし市場」や「宮城県白石産ササニシキ復活プロジェクト畦かえる」、「みのりキッチン」、白石市等のご協力のもとイベントを企画・運営した。イベントでは各ゼミが企画した商品の販売や、ワークショップを行った。

- マスコットキャラクター「ささいなり」の考案
- 購入者向けステッカーの作成・配布
- 塗り絵コーナー
- ササニシキジェラート販売
- ササニシキプリン販売
- ササニシキ米粉ドーナツ考案・販売
- 研究成果ポスター掲示
- 等

（参加生徒のコメント）

“ササフェスを行って白石市やササニシキの知識をさらに深めることが出来ました。ササニシキを使用したジェラートは若い人をターゲットにして制作し、見事完売することができたので良い経験になりました。楽しかったです！”

“ササフェスを開催するにあたって、準備の大変さや実施の難しさを感じるものが大きかったですが、米粉ドーナツやプリンの開発・販売を通してたくさんの人に関わることができ、とても良い経験ができました。”

“ササフェスの時に、自分の班の人たちだけではなく、ほかの班や大人の方とも協力し、会話、相談をしたことから協調性、コミュニケーション能力が身についた。”



○「#いいね白石」共通ハッシュタグの考案と市長への提案

日にち：令和4年1月19日（水）

場 所：白石市役所（白石市大手町1-1）

概 要：「白石市の魅力を SNS を通して発信し白石市の活性化を図る」という目的で、地域おこし協力隊の方や地元企業の方々、白石市等のご協力のもと、SNS での共通ハッシュタグを考案しその利用を白石市長に提案した。今後は共通ハッシュタグ「#いいね白石」を使った投稿が年間 3,000 件を超えるよう、活動を継続する予定。

（参加生徒のコメント）

“シンプル・使いやすい・ポジティブワードをポイントに、100 以上の案から選択しました。白石市の魅力発信のため、市内外問わず多くの皆さんに使って欲しいです。”

“フィールドワークで初対面の方にお会いしたり、違うゼミの先輩の皆さんとも協力して活動したことで、コミュニケーション力が身についた。また、白石市役所 みなさんにプレゼンをするにあたって、地域おこし協力隊の方や先生に、見やすいスライドの作り方についてたくさん教えていただきました。”



○ 地元企業「きちみ製麺」とのコラボ

日にち：令和4年2月

場 所：株式会社きちみ製麺（白石市本町46）

概 要：①「マーケティング技術を学びお世話になっている白石市の地域経済活性化に貢献する」という目的で、「きちみ製麺」「不忘印刷所」のご協力のもと「麻の葉文様柄ラベル白石温麺」のラベルをデザインし、限定300袋で販売していただいた。

②「白石市の特産品を使った商品を開発し観光客増加・地方創生につなげる」という目的で、「きちみ製麺」のご協力のもと「ちーずたくあんおいなり」を提案し、「きちみ製麺光庵」で2月21日～28日に限定販売していただいた。



（参加生徒のコメント）

“初めは、ひとつの会社の製品を私たちが加わって製作するなんてできるだろうかと不安な気持ちがありました。挑戦を恐れずに活動した事は、自分の自信となりました。”

“パッケージ開発の活動からは発案力、大人数での話し合い活動からは積極的に取り組もうとする意識、学外の方との協力活動からはコミュニケーション力が身についたと思います。”

“何度も企画が通らないこともあったけれど、諦めずに新しい案を考えられた。活動を通して、諦めずに挑戦する力、コミュニケーション能力、分かりやすい資料作成の仕方が身についた。”